

浜嶋です。

おはようございます。

9月6日は、BVS隊で金城亜美ちゃんと玉井希美ちゃん、CS隊で玉井春希君の入隊式を行います。入隊おめでとうございます。入隊ありがとうございます。

私は、ボーイスカウトに入隊してよかったと提供いただけるように改めて2団の活動が楽しく、スカウトの将来に役立つものにしていきたいと思っています。本当に、もっともっとスカウトを増やしてあげたいと思います。

そのために、豊中地区では、団・隊活性化の取り組みを評価するための「団・隊の活性化のためのアクション評価シート」を用いて1年間の目標と3ヶ月間の具体的施策の設定、評価を行っています。私は、これを真剣に活用することを考えました。

私の理解不足で、いままでこれを団内で共有していませんでした。これでは、共通の目標に向かって力を結集できないと反省しています。目標を明確に定め、各自が何をすべきかや何を協力したらいいかをはっきり認識できるようにしたいです。

9月の平成27年度計画立案からは、団及び各隊の計画と評価を公開し、団と隊及び保護者の意識を全体で高めたいと思います。

団としての大きな目標は、隊員数を増やすことです。また、ボーイスカウト活動が魅力あるものであることを、入団していただいたスカウトや保護者に理解していただき、ボーイスカウトになったことを誇りに思い、満足していただくことです。具体的な指導や教育は隊で行いますが、団はそれを推進させるための方策を考え、実現させます。

そこで、今回の団の計画を考えました。隊の計画はこれを踏襲して策定してもらうようお願いしました。

1. 隊員募集

標準隊の構成は、各学年8名のスカウトで活動することです。豊中の団で実現している団があります。2団も頑張りましょう。

今年度の1年間の隊員募集の目標は、BVS隊で8名、CS隊とBS隊は、途中入隊4名ずつとします。

2. かつこうよい隊・団とすること

簡単なことをしっかりやって、誇りを持てる団にしましょう。世界ジャンボリーに参加した豊中地区大阪まちなか隊の井元隊長は、奈良県の隊は、すばらしく世界で一番の隊だったと述べていました。相当な準備をして臨んだと言います。やればできると思います。2団もやりましょう。

- ・連盟歌と光の道を大きな声で歌う。
- ・隊全体で機敏に行動する。

スカウトだけでなく、指導者がかっこう良くすることから始めましょう。隊全体でかっこうよくなれば、スカウトもかっこう良くなっているはずです。だから指導者が頑張ってください。スカウトには手本が必要です。また、指導者とスカウトと一緒にするから楽しいのです。保護者の皆さんも一緒に楽しみましょう。

具体的な施策として、団行事で競争しましょう。団行事の終わりには、かっこう良い隊を表彰します。団行事のすべてで行いたいと思います。団行事が楽しくなりますよ。その結果は、体験者の方が、自分も参加したいと思うはずです。

隊指導者は、どうしたらかっこうよくなるか。かっこう良く見えるか。自分の行動に誇りを感じることができるか。そして、スカウトが競争意識を出して楽しめるかを考えてほしいです。

隊対抗「(仮称) かっこうつけま賞」

審査員は保護者をお願いします。BVS隊、CS隊、BS隊、VS隊で各2名ずつ。事務局がお世話をします。審査委員長は加納育成会長で、採点はせずに全体をまとめて頂きます。各隊10点満点で合計点の多い隊を表彰します。

6日から実施します。

評価ポイントは5つとします。

- ①全体が揃っているか（まとめ、仲間意識）
- ②素直でまじめで素早い行動（話をよく聞く、迅速に動く）
- ③元気であること（声が大きい、動きが楽しそう）
- ④周囲への気配り、他隊との連携（いたわりの心、良いことをする）
- ⑤参加数、参加率（多くのスカウトの参加）

年少隊が眼の色を変えてくれたらうれしいです。標準隊編成と同様な面白さを実感しましょう。

3. 英語の使用

国際化に対応します。VS隊になって海外派遣隊に参加できるよう英語を勉強してもらいたいです。ホームステイを受けられるようにしましょう。隊活動で英語を教えるということではありません。英語を使うために各自が努力することを促します。隊長の英語の話が分からなかったことを悔しく思う気持ちが大切です。簡単な言葉は、隊集会で覚えられますね。

隊員募集では、英語を使うということを大きな魅力にしたいと思います。

2団のHPには、「英語を使ったプログラムに参加しませんか」と書かれています。

「英語を話そう」のページもあります。

各隊の年代に合わせた英語を使いましょう。各隊の取り組みを掲載します。

B S隊は、昨年夏キャンプから始めました。今年のB S隊キャンプも開村式と朝礼で隊長が英語の言葉を引用しました。私も英語で挨拶をしました。また、ドイツスカウト歓迎やホームステイで各隊が英語を使いました。少しずつでいいのです。継続していきましょう。